

えほんの紹介

『かしこいビル』

ウィリアム・ニコルソン さく
まつおか きょうこ よしだしんいち やく ペンギン社



ある日、メリーはおばさんから招待状をもらいました。メリーは大事なものを全部ランクにつめこんで、出かけたはずでした。ところが、なんと、お気に入りの兵隊人形ビルを入れ忘れてしまったのです！

涙にくれていたビルは起き上がると、走り込んで汽車を追い、とうとうドアー駅でメリーに追いついたのです。“かしこいビル！”とみんなに迎えられます。1926年に書かれたイギリスの古典絵本です。絵をたんねんに読んでいくといっそうたのしさが増す絵本です。

『テントウムシ』

今森 光彦 文・写真 アリス館

春になるとたくさんの虫たちに出会えます。今回はテントウムシの絵本のお話です。

「これなあに？」と小さな女の子が持ってきた葉についた豆つぶのようなもの。それはテントウムシのさなぎでした。時間がたつとさなぎが動き出し、そこから抜け出したのはレモンのような黄色いテントウムシでした。15分もたつと、黄色が赤色に変わり、七つの星が浮かび上がりました。ナナホシテントウムシです。絵本の中にはテントウムシの食べ物、仲間の名前、楽しい動きがとても分かりやすく書かれています。

この絵本の写真がとても美しく、ページをめくるたびに小さなテントウムシの変化を楽しめます。どうぞ絵本を手にとって楽しんでください。



小さなおともだち Yちゃんのすてきな作品 2'

絵やねんどが大好きなYちゃん。素敵な作品がどんどん増えてきました。小麦ねんどで作ったお料理、左はハンバーグの上に目玉焼き、ピーマンの細切り入りのスパゲティ、えびフライ、ブロッコリー、ミニトマト、デザートはプリンとサクランボも一緒にひと皿です。この皿はジャムの瓶のふたです。右はお寿司。玉子、マグロ、トロ、サーモン、エビ、ウニ、わさび。お皿の周りにフォーク、おはし、お茶もちゃんとしています。



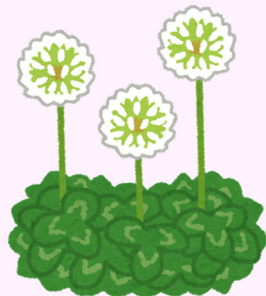
最近では超大作の紙芝居「さんさんのいちにち」を作りました。歯ブラシとコップのペーパーサートも出てきて、聞き手にさんさんの歯みがきをさせてくれます。かわいいですね。



草花あそび シロツメクサの花輪

クローバーともいいます。白いポンポンのような丸い花をたくさん立てて咲きます。

その花で花輪を作りましょう。



四つ葉を見つけて願いごとをしてみよう。

花は茎を長くしてたくさんつんで、図のように編み、輪にして閉じます。

首かざり、かんむり、ブレスレットにしたらとても素敵です。



季節のわらべうた

♪ でんでんむし でむし
でなかま ぶちわらう

(京都)



でんでん虫(かたつむり)は殻から出たり入ったり、目にゆーつと出したりひっこめたりします。ちよつとつくとすぐ引っこみます。殻の中からでておいで〜”と呼びかけて誘います。出てこないとかま(殻)をぶちわるぞ”と、おどしながら…。